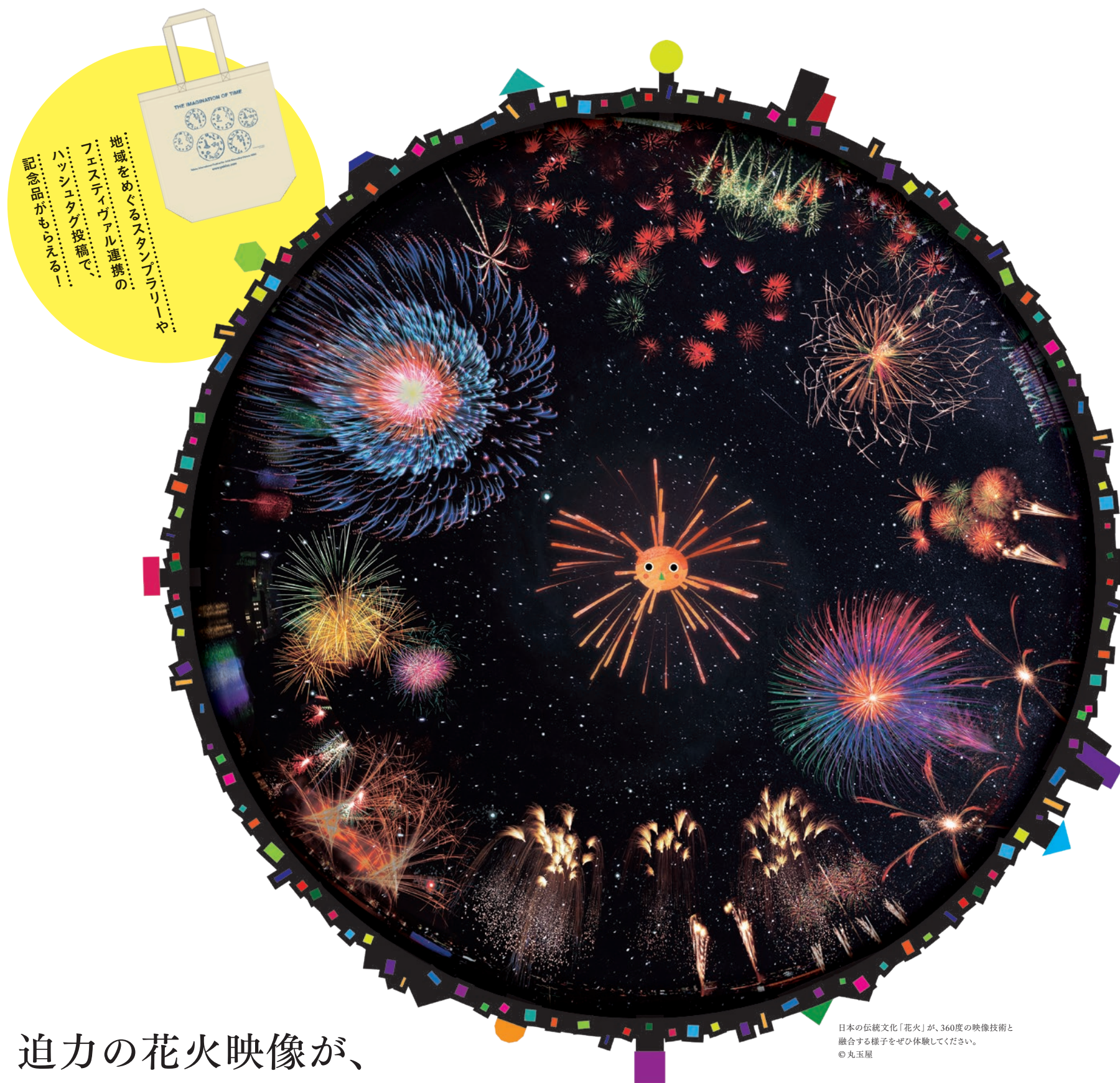


恵比寿映像祭を、楽しみ・まなび・かんがえ・めぐる！

www.yebizo.com

YEBIZO MEETS PAPER



恵比寿の街で「時間を想像する」。
2月7日(金)～2月23日(日・祝)

迫力の花火映像が、 真冬の恵比寿に打ち上がる。

恵比寿映像祭期間中、恵比寿ガーデンプレイス センター広場では、ドームの中で360度全方位の花火映像を体験できる《ハナビリウム》がお目見えします。花火師以外は決して入ることができない花火の真下から撮影した驚きの実写映像は、季節を越えてまるで星空を見上げるように鑑賞することができます。

《ハナビリウム》は、江戸時代から400年以上をかけて積み重ねられてきた花火の歴史と技術を伝える、花火界初の実写とCGアニメーションによるフルドーム教育映像作品。落ちこぼれの花火を模した主人公ヒバナの成長とともに日本の伝統である花火の歴史を知る25分の物語本編にはほろりとさせられます。あわせて、花火の軌跡が美しい作家映像作品などもご覧いただけます。ぜひ真冬の花火に包まれる体験をしに来ませんか？

日本の伝統文化「花火」が、360度の映像技術と融合する様子をぜひ体験してください。
© 丸玉屋

真冬の花火に出会う／映像の楽しさに触れる 《ハナビリウム》ドーム映像

Hanabirium

日時：令和2年2月7日(金)～2月23日(日・祝) 10:00-20:00 最終日は18:00まで(月曜休)
会場：恵比寿ガーデンプレイス センター広場
参加：無料
※天候等により公開を中止する場合があります。予めご了承ください。
協力：株式会社レイ

第12回恵比寿映像祭「時間を想像する」 () 映 恵 Yebisu 像 比 International 祭 寿 Festival for The Imagination of Time Art & Alternative Visions

会期：令和2(2020)年2月7日(金)～2月23日(日・祝)《15日間》月曜休館
時間：10:00-20:00 ※最終日は18:00まで
会場：東京都写真美術館／日仏会館／ザ・ガーデンルーム／恵比寿ガーデンプレイスセンター広場／
地域連携各所ほか
料金：入場無料 ※定員制のプログラムは有料

恵比寿映像祭とは

映像文化の創造と紹介・体感の場としての「恵比寿映像祭」は、アートと映像の国際フェスティバルとして、2009年2月より毎年開催。映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術ほか、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に揃い、東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイスおよび地域の文化施設と共に開催しています。第12回恵比寿映像祭は、オリンピック・パラリンピックの開催都市東京が展開する、2020年を盛り上げる文化の祭典「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の1つとして実施します。

映像文化の楽しさに出会う 「YEBIZO MEETS」

YEBIZO MEETSは、多くの人々が多様な映像表現に触れる「開かれた」機会として、映像文化を紹介・体感するプログラムです。映像祭で紹介されているジャンル横断の多彩な作品を体感するため、鑑賞の手掛かりを提供していきます。また、地域で活躍するアートの担い手たちと行う連携企画や地域を巡るスタンプラリーなどを通じて、フェスティバルを楽しむきっかけをつくります。

YEBIZO MEETS

恵比寿の街を巡って、 アートを楽しもう。

YEBIZO MEETSでは、恵比寿映像祭と地域の文化施設とのネットワークによる地域連携プログラムを実施。第12回恵比寿映像祭のテーマ「時間を想像する」を共有して、恵比寿周辺のギャラリーや文化施設各所が多彩な企画を実施しています。この機会にぜひ訪れてみてください。

1 日仏会館／Maison franco-japonaise
www.mfjtokyo.or.jp

映像と講演

「映画と文学 VI 文学から／を、引用／借用する——ブルーストと映画」【R15+】

ブルーストの「失われた時を求めて」は、様々な人々たちで映画に影響を与えてきた。時間を自由に引き来するという映画のフラッシュバック、あるいは記憶の現前化……。アルノー・デプレシャン監督の〈あの頃エッフェル塔の下で〉をブルースト文学との関係から見えます。

日時：令和2年2月10日(月)18:00-21:00
会場：日仏会館ホール／東京都渋谷区恵比寿3-9-25
入場：一般1,000円、学生500円 事前事前申込
講師：杉原真由(映画批評、日仏大学)
TEL：03-5424-1141
主催：公益財団法人日仏会館、TMF日仏メディア交流協会

2 YEBISU GARDEN CINEMA
www.unitedcinemas.jp/yebisu

母との約束、250通の手紙 【R15+】

フランスが愛した文豪ロマン・ガリの波乱万丈で数奇な人生を描いた自伝小説を映画化。5年間、毎週届き続ける手紙に隠された秘密とは？ 第二次世界大戦下、途すぎるほどの絆で互いの存在だけを頼りに生き抜いた母と息子との愛を描く心揺さぶる感動作。

日時：令和2年1月31日(金)～
※詳細はウェブサイトをご覧ください。
会場：YEBISU GARDEN CINEMA／東京都渋谷区恵比寿4-20-2
恵比寿ガーデンプレイス内
入場：通常料金[大人1,800円、大学生1,500円、プライベートシート2,000円]、割引料金[シニア(60歳以上)1,200円、夫婦50割(ご2名様で2,400円)]
休日：2月17日(月)
TEL：0570-783-715

3 Rocky Shore
www.rockyshore.tokyo

Mountain River Jump! (山河跳！) 旧正月の獅子舞のインスタレーション

古星術や社会情勢、フェミニズムを主題にラディカルかつポップな表現をする中国の双子のユニット、Mountain River Jump!(山河跳！)が旧正月の獅子舞のパフォーマンス記録の展示を行います。

日時：令和2年2月7日(金)～2月23日(日・祝) 13:00-18:00
会場：Rocky Shore／東京都目黒区三田2-7-7 エスポート三田105
入場：無料
休日：月／火曜日
TEL：070-2663-5063

4 MA2 Gallery
www.ma2gallery.com

木村恒介・瀧本幹也・藤井保

「時間」を観ることは出来るのだろうか？ 写真家、藤井保と瀧本幹也の水、海の動きを絵のように捉えた映像作品、数枚の写真を組み込んで、時空を交差させた木村恒介の作品。それぞれの視点で捉えた「時間」。

日時：令和2年2月6日(木)～2月23日(日・祝) 12:00-19:00
会場：MA2 Gallery／東京都渋谷区恵比寿3-3-8
入場：無料
休日：月曜日
TEL：03-3444-1133

5 CAGE GALLERY
cagegallery.com

5つの印象——磯谷博史

東京の2つの窓辺で、オリンピックと同じ期間、同じ場所で開催される展示会を告知。スペクトルで印象と記憶をつくる祝祭に、作家のパラレルな時空が介入します。わずかに2枚のポスターによる、ささやかだが、決して小さくない投げかけとして。

日時：令和2年2月1日(土)～3月29日(日)11:00-20:00
会場：CAGE GALLERY／東京都渋谷区恵比寿2-16-8 1F
入場：無料
TEL：03-6447-7448

※スタンプラリーのスタンプ設置場所：
ギャラリー向かいのHender Scheme「スキャ」、14:00-20:00、会期中無休。

6 工房親 CHIKA／Gallery CHIKA
www.kobochika.com

二人のショー

宇田川直寛と横田大輔によるニュープロジェクト、“二人”が何よりも多くの時間を費やしているコミュニケーションの基本である会話を通して、お互いが共有しうるそれぞれの時間について試行する。映像、写真、音楽による実験的空間の創出。

日時：令和2年2月1日(土)・2月29日(土)12:00-19:00
(日曜日18:00まで／最終日17:00まで)
会場：工房親 CHIKA／東京都渋谷区恵比寿2-21-3
入場：無料
スケジュール：2月8日(土)
16:00-17:00 トークショー(申込不要／無料)
二人(宇田川直寛＋横田大輔)／深川雅文(キュレーター／タリクティック)
17:30-19:00 オープニングレセプション(ごなたでもご参加いただけます)
※詳細はウェブサイトをご覧ください。
休日：月／火／第1土曜日(2月5日)
TEL：03-3449-9271

7 MuCuL ミュウカル
e-mucul.com

Beyond the Time～時音～

山中伸が雪舟の絵巻物「四季山水図」を3Dヴァーチャル的に再現、あたかもその世界の中を自分自身が歩いているように演出。さらに佐藤慶子の現代音楽が加わることで現代と過去の交差する表現世界をつくり、芸術における時間と空間を考える。ライブ・イベントあり。

日時：令和2年2月7日(金)～2月23日(日・祝)13:00-18:30
会場：MuCuL(ミュウカル)／東京都渋谷区恵比寿2-21-3 2F
入場：無料 ※イベントの詳細はウェブサイトをご覧ください。
休日：月／火曜日
TEL：03-3446-2618／090-9804-1167

8 NADiFf a/p/a/r/t
www.nadiff.com

吉田志穂＋duenn展

ヴァーチャルとリアルの境界が曖昧な今日の視覚世界をまななし、独創的な作品で注目を集める。1992年生まれ、デジタルネイティブ世代の作家・吉田志穂。本展では、吉田とサウンドアーティスト duennとのコラボレーションで、映像＋サウンドが呼応する新作を発表します。

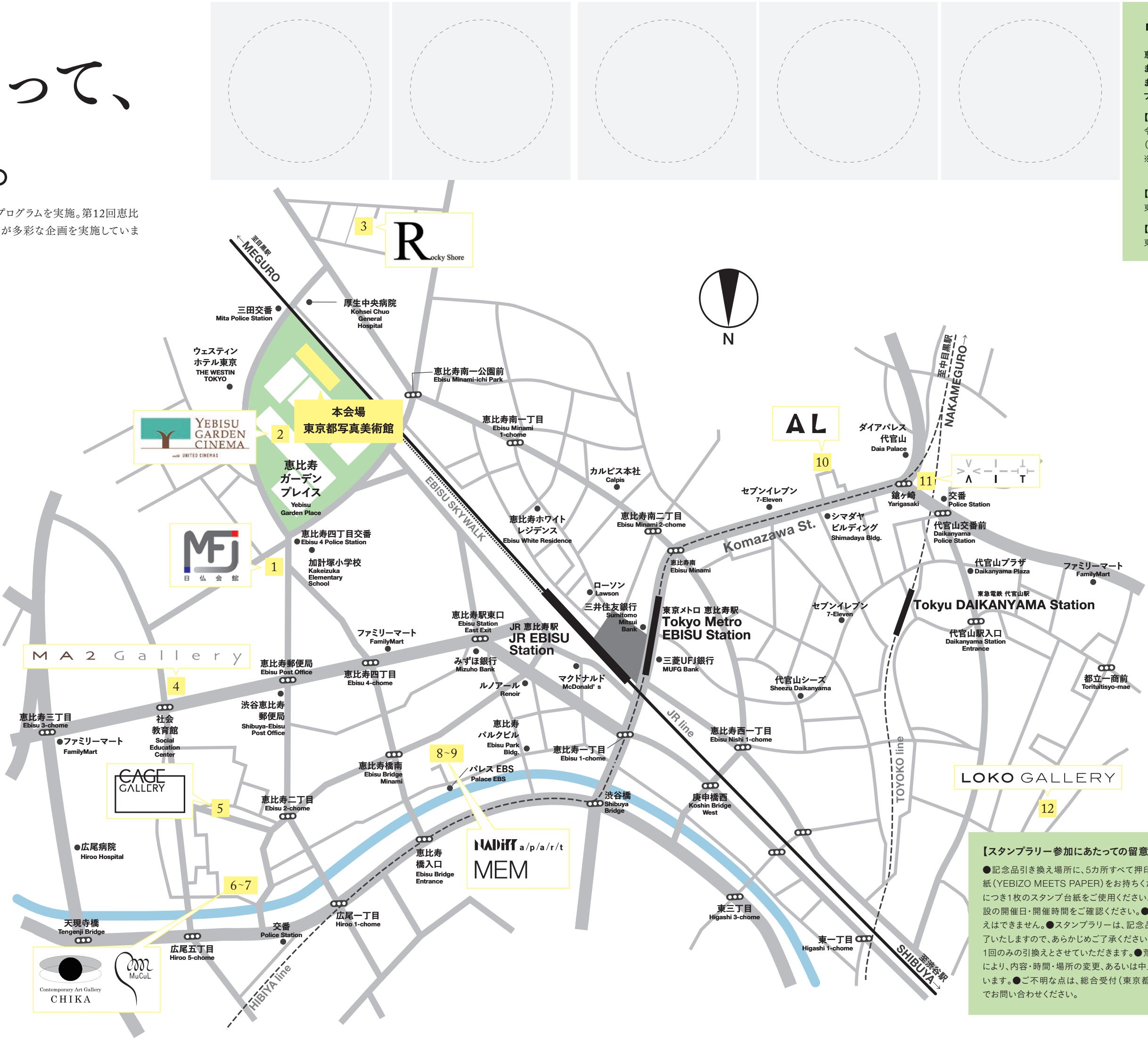
日時：令和2年2月6日(木)～3月1日(日) 12:00-20:00
会場：NADiFf Gallery／東京都渋谷区恵比寿1-18-4
NADiFf A/P/A/R/T B1F
入場：無料
休日：月曜日(祝日の場合は翌日)
TEL：03-3446-4977

9 MEM
www.mem-inc.jp

山口典子展「繰り返される物語」

第7回恵比寿映像祭でも映像パフォーマンスを発表した山口典子の新作絵画を展示。山口はアナログとデジタル表現を行き来し人間の感覚や感情、コミュニケーションのあり方を主題にしてきました。過去制作のストップモーションアニメーションの一手上映も予定。

日時：令和2年2月6日(木)～3月1日(日) 12:00-20:00
会場：MEM／東京都渋谷区恵比寿1-18-4
NADiFf A/P/A/R/T 3F
入場：無料
休日：月曜日(祝日の場合は翌日)
TEL：03-6459-3205



「時間を想像する」をめぐるスタンプラリー

恵比寿地域の会場を巡ってスタンプを集めながら、映像祭を体験してみませんか。5カ所のスタンプを集めると、ステキな記念品をプレゼントします。東京都写真美術館、日仏会館、地域連携会場それぞれで、スタンプを集めることができます。

【実施期間】

令和2年2月7日(金)～2月23日(日・祝) 10:00-20:00

(最終日は18:00まで。2/10(月)、2/17(月)は休館)

※地域連携会場の開催日・開催時間はそれぞれ異なりますので、各施設の情報をご確認ください。

【スタンプ設置場所】

東京都写真美術館1F総合受付／日仏会館2Fロビー／地域連携会場 (MAP 1～12)

【記念品引換え場所】

東京都写真美術館1F総合受付／日仏会館2Fロビー／NADiFf a/p/a/r/t



スタンプ5つで
オリジナル
トートバッグ贈呈!

12 LOKO GALLERY
www.lokogallery.com

頂上——シンゴヨシダ

昭和49年8月20日、富士山頂にひとつの句碑が建立された。それは、古来より崇められてきた日本の象徴である最高峰に、個人が巨石を運び上げる、無謀ともいえるプロジェクトであった。俳人たちの夢を巡る父子三代の物語。

日時：令和2年2月7日(金)～3月7日(土)11:00-19:00
会場：LOKO GALLERY／東京都渋谷区渋谷町12-6
入場：無料
休日：日／月曜日／祝日
TEL：03-6455-1376

11 アーツイニシアティヴトキョウ【AIT/エイト】／
Arts Initiative Tokyo
www.a-i-t.net

AIT ARTIST TALK #78

「建築の感情的経験」 オランダよりアーティストのペトラ・ノードカンブを迎えて

レジデンスプログラムを通じてオランダより招聘しているアーティスト、ペトラ・ノードカンブによるトークを行います。これまでの活動と映像作品を紹介しつつ、創作の出发点となる建築や都市環境と、私たちの経験や記憶との関係性について探求します。

日時：令和2年2月19日(水)19:00-21:00(開場18:30)
会場：特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトキョウ【AIT/エイト】／東京都渋谷区猿樂町30-8 ツインビル代官山B-403
入場：一般1,000円、MAD生・学生・AITメンバー 800円 ※1ドリンク付 事前事前申込 幸英語、日本語の逐次通訳あり
TEL：03-5489-7277

10 AL
www.al-tokyo.jp

遠い時間、近い時間 ——Aokid・加藤立・小林エリカ

人智を超えた物質の背後に横たわる悠久の時間を捉えなおす小林エリカ。日常の傍らに在る時間を可視化する表現に取り組み加藤立。絵とダンス両輪の表現言語を生かし、時の軌跡を描き続けるAokid。人間の時間意識を疑い、跳躍を試みる3作家の現在地を紹介する。

日時：令和2年2月6日(木)～2月16日(日) 11:00-20:00(最終日は17:00まで)
会場：AL／東京都渋谷区恵比寿南3-7-17
入場：500円 ※1ドリンク込(パフォーマンスは別途入場料)
企画：住吉智恵(TRAUMARIS)
TEL：03-5722-9799

小林エリカ (68年の後に彼女のポートレートを描こうとする) 2018年
"Your Dear Kitty" シリールズ
Courtesy of Yuriko Kikukawa Gallery



山口典子「六甲おかし屋裏日記」2019年
Courtesy of MEM

enjoy!

恵比寿映像祭を

楽しむ

“映像の芸術表現”という「難しそうだな」と思う人にはぜひオススメなのが、ガイドツアー。実際の会場を巡りながら、作品の成り立ちをナビゲーターが解説します。毎年来ている、映像を学んでいるという人も参加していますが、初めての方も、もちろん楽しんでいただけます。それぞれの理解に応じたガイドツアーを目指しています。

理解促進のためのガイドツアー

初めてでも楽しめる！

フェスティバルの全体像を掴もうツアー

〔60分／日本語〕

フェスティバルを巡って、様々な表現を通じて浮かび上がる「時間を想像する」というテーマについて俯瞰的な視点でガイドいたします。初めての人もテーマと作品の関係性を理解するきっかけが掴めるよう、恵比寿で活動するアートNPO[AIT/エイト]によるナビゲートで、映像表現の多様さと時代の関係性やテーマとの繋がりについてともに考えます。

日時：令和2年2月11日(火・祝)11:30-12:30／20日(木)18:30-19:30／23日(日・祝)11:30-12:30

会場：東京都写真美術館全フロア

ナビゲーター：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]／大隈理恵、東海林慎太郎、藤井理花、青木祥子

参加：無料／開始の5分前までに、東京都写真美術館1F総合受付横(ガイドツアー集合場所)にお集まりください

定員：各回15名／整理券配布(ガイドツアー実施日の午前10時から、東京都写真美術館1F総合受付にて当日分を配布します)



中国語で解説

TOP インターンが解説！中国語で巡るガイドツアー

〔60分／中国語〕

恵比寿映像祭・中文解说导览巡游〔60分钟／中文〕

フェスティバルのいくつかの作品を、中国語を使ってガイドするツアーです。関心のある人は誰でも気軽に参加できます。

日時：令和2年2月13日(木)18:30-19:30／16日(日)11:30-12:30

会場：東京都写真美術館全フロア

ナビゲーター：戴周杰(たい・しゅうき)／東京都写真美術館インターン)

参加：無料／開始の5分前までに、東京都写真美術館1F総合受付横(ガイドツアー集合場所)にお集まりください

定員：各回15名／整理券配布(ガイドツアー実施日の午前10時から、東京都写真美術館1F総合受付にて当日分を配布します)

本次巡游将通过中文为大家解说导览在本次影像节中展出的各种异彩纷呈又风格多变的影像艺术作品・欢迎所有对影像与艺术抱有兴趣和热情的广大爱好者们一起共同来参与本届惠比寿影像节的光影之旅。

巡游时间：2020年2月13日〔周四〕18:30-19:30 | 2月16日〔周日〕11:30-12:30

巡游会场：东京都写真美术馆内全部展区

解说导览：戴周杰(DAI Zhoujie/ 东京都写真美术馆实习策展人)

参加費用：免费参加

巡游人數：每次15名 / 发放排队券

- 排队券将于导览巡游当日的上午10点开始在东京都写真美术馆一楼综合服务台发放。

- 请在导览巡游开始前5分钟, 前往东京都写真美术馆一楼综合服务台侧面的巡游指定集合场所集合。

フェスティバル
本会場MAP



東京都写真美術館

●A 3F・2F・B1F 展示室

●B 1F ホール

●C 2F ロビー

●D 1F スタジオ

日仏会館

●E ギャラリー

●F ホール

●G ザ・ガーデンルーム

●H 恵比寿ガーデンプレイス センター広場

●I 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど

専門性・オリジナルな視点でめぐるガイドツアー

変性意識と宇宙 | 時間の旅を巡るガイドツアー

〔60分／日本語〕

いくつかの作家や作品をピックアップして、テクノロジーや自然、宇宙など様々な切り口から「時間を想像すること」について深く考察しながらフェスティバルを巡ります。近年探求をするホリステックな観点から、もうひとつの生き方や拡張する意識について、ロジャー・マクドナルド氏がナビゲートします。

日時：令和2年2月16日(日)15:00-16:00

会場：東京都写真美術館全フロア

ナビゲーター：ロジャー・マクドナルド

(MAD プログラム・ディレクター / AIT キュレーター)

参加：無料／開始の5分前までに、東京都写真美術館1F総合受付横(ガイドツアー集合場所)にお集まりください

定員：15名／整理券配布(ガイドツアー実施日の午前10時から、東京都写真美術館1F総合受付にて当日分を配布します)



知ればもっと楽しくなる！恵比寿映像祭の巡り方。

多様な映像表現が
お目見え！

国内外で活躍著しい作家らによる映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術ほか、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に集う貴重な機会です。恵比寿映像祭初のプレミアム作品やここで見られない貴重な作品も多数揃います。

展示は無料で
鑑賞できる！

上映やライブ、シンポジウムなど定員制のプログラム以外は、無料。多くの方々に映像文化に慣れ親しんでいた、この経験をもとに豊かな感性を育んでいただきたいと願うフェスティバルの姿勢によるものです。この機会をお見逃しなく。

映像は時間芸術。
ゆっくり時間をかけて。

映像作品は時間を伴うため鑑賞時間を要します。それぞれのペースでご覧いただけますが、ぜひ、今日はじっくり映像祭に浸ろうかな、という気持ちでお越しください。合間に、恵比寿ガーデンプレイスのレストランでランチやコーヒープレイクを楽しむのもおすすめです。

見方はいろいろ。
難しく考えないでOK。

アートは真面目に見るものと思っているませんか？鑑賞方法に正解はありません。順番に見ても、気になる作品だけをじっくり見ても良いのです。全部をさっと見てから、戻ってきてじっくり見る方法もあります。ガイドツアーなどのプログラムに参加し、作品の理解を深めることもできます。

スタンプラリーを楽しみつつ、
地域を巡る楽しみ方も。

恵比寿で活躍するアートの担い手たちと連携して、地域連携プログラムを実施しています。「YEBIZO MEETS PAPER」は、その施設を巡るスタンプラリー台紙になっています。スタンプを5個集めると、第12回恵比寿映像祭の特別限定トートバッグを記念品として贈呈します。

他のフェスティバルも
はしごしよう！

2月は、アート&メディアのフェスティバルが多数実施されているのをご存知でしょうか。恵比寿映像祭は、「デジタル・ショック」「未来の学校祭」「MEDIA AMBITION TOKYO」と連携いたします。詳しくは、裏面情報をご参照ください。

learn!

恵比寿映像祭で

まなぶ

「どのような視点を持てば良いのだろう」「アートは専門的すぎてわからない」などと敬遠するのはもったいない！きっかけさえ掴めれば、様々な扉が開かれるはず。この機会にプログラムに参加し、多様な映像表現の奥深さやアートの世界に触れてみてください。

新しいアート活動

POSTとTRANS BOOKSの主宰者に聞く。 アートブックを通じた新しい動きとは。

最近では、アートブックを切り口にアートの活動が続けている人が増加しています。YEBIZO MEETSでは、「アートブックフェア」をディレクションし、恵比寿でも活動が続けるPOSTの中島佑介氏とTRANS BOOKSで旬な活動を展開する飯沢未央氏(アーティスト)、萩原俊矢氏(Webデザイナー)、畑ユリエ氏(グラフィックデザイナー)を迎えてざっくばらんに、現在の潮流について語っていただきます。アートブックで映像を表現することの可能性についても議論します。

日時：令和2年2月12日(水)18:00-19:30

会場：東京都写真美術館1Fスタジオ

講師：中島佑介(POST、TOKYO ART BOOK FAIR)、飯沢未央・萩原俊矢・畑ユリエ(TRANS BOOKS)

参加：無料

定員：60名／整理券配布

●整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて配布します。

●開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合してください。



think!

恵比寿映像祭で

かんがえる

昨今、アートシンキングやデザインシンキングがちょっとしたブーム。いずれもアートやデザインを用いた思考方法を示していますが、実際に何をどう組み立てて考えるのか？ また、考えを人と共有することとは？ 恵比寿映像祭では、鑑賞者目線のまま、等身大で作品やフェスティバルを考えてみます。

プロダクトデザイナーの視点によるフェスの楽しみ方開発

「アйдントノウ」と一緒に考える！ フェスティバルの楽しみ方ガイド。

東京の中目黒を拠点に「僕たちは本当は、まだ何も知らない」をテーマに活動するプロダクトデザイン集団 idontknow.tokyo (アйдントノウ) は、恵比寿映像祭にもアートにも馴染みがありません。そんなアйдントノウが、このフェスティバルがどういった仕組みであり、どういった楽しみ方ができるのか？プロダクトデザイナーの視点による「フェスティバルの楽しみ方」を考えます。アートに縁遠いけれども、興味があるという方やビジネスパーソンなどにもおすすめです。

日時：令和2年2月19日(水)18:00-19:30

会場：東京都写真美術館1Fスタジオ

講師：角田崇、治田将之、青木亮作(idontknow.tokyo)

〔プロダクトデザイナー集団〕

参加：無料

定員：60名／整理券配布

●整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて配布します。

●開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合してください。



感想を言葉にする、アートライティング

フェスティバルを自分の言葉で伝えよう！ 書くヒントを見つける90分。

作品を鑑賞して、感じることや考えることは一人ひとり異なります。ここでは、鑑賞した作品や展示について「書く」ためのヒントや、自分なりの視点をつかむ手がかりについて、アートライターから話を聞きます。その後、展示会場を見て、考えた言葉をきっかけとして、このフェスティバルについてどんなことを書いてみたいか、思いを巡らせてみましょう。アートについて自分の言葉にして発信することに挑戦してみたい人へおすすめです。関心のある方はどなたでもご参加できます。

日時：令和2年2月15日(土)11:00-12:30(作品鑑賞時間を含む)

会場：東京都写真美術館1Fスタジオ+展示室

講師：アンドリュース・マークル(アートライター／編集者)

参加：無料

定員：12名／整理券配布

●整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F

総合受付にて配布します。

●開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合してください。

●テキストの添削は行いません。

●テキストの抜粋を、後日、広報用に紹介させていただく場合があります。

企画協力：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]



メディアとアート表現のはざま

やさしい言葉で、映像の今を考える。 ～恵比寿で活動するジャーナリスト 堀潤を迎えて。

ジャーナリストの堀潤氏を迎えて、映像と表現の今を聞く。自主制作のドキュメンタリー映画《私は分断を許さない》の公開を控えている堀潤氏。実は恵比寿地域で活動をしています。生々しい現場に自ら赴きカメラを向けるジャーナリストの切り取る今と、アート表現としての映像の距離感、今マスメディアにできること・できないことなど、やさしい言葉で話していただきます。恵比寿で堀氏と共に活動している「恵比寿新聞」が聞き手となります。

日時：令和2年2月21日(金)18:00-19:30

会場：東京都写真美術館1Fスタジオ

講師：堀潤(ジャーナリスト)

聞き手：タカハシケンジ(恵比寿新聞)

参加：無料

定員：60名／整理券配布

●整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて配布します。

●開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合してください。



だれでも自由に自分の感じ方を共有できる

こどももおとなも哲学セッション！ 作品をみて、感じて、 いろいろな「ふしぎ」を考えよう！

「時間」ってなんだろう？ 時間が止まると世界はどうなる？ 昨日の私と今日の私は違う？ こどもたちや参加者が、普段は聞けない身の回りの疑問を持ち寄りながら、哲学の考えを頼りに気軽にゆるやかに話し合う場です。ここでは、哲学研究者とこどもたちが一緒にいくつかの展示作品を見て、それぞれが思い浮かべた言葉や、見つけたハテナをみんなで自由に話し合います。正解や不正解はありません。関心のある小学生以上のお子さまはどなたでも気軽に参加できます。

日時：令和2年2月11日(火・祝)15:00-16:30

会場：東京都写真美術館1Fスタジオ

講師：山森裕毅(哲学研究者/大阪大学COデザインセンター特任講師)

参加：無料(対象：小学生以上)

定員：15名／整理券配布

●整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて配布します。

●開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合してください。

企画協力：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]



dear Me フェス! - 越境するアートとアクションから考える、こどもと私の豊かな学びの場 -, 2018年 Photo by Yukiko Koshima

2月は「アート&メディア月間」。

恵比寿映像祭がエリアを超えてコラボレーション！

ハッシュタグ
#ARTANDMEDIA_TOKYO
をつけて投稿しよう!!

ART EVENT 01

アートと映像の祭典 「恵比寿映像祭」

「皆で映像について考えてみよう」という姿勢のもと開催されている映像とアートの国際フェスティバル。映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術ほか、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に揃います。

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京、日本経済新聞社
会場：東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場、地域連携各所ほか
会期：令和2年2月7日(金)～2月23日(日・祝) 2/10(月)、2/17(月)は休館
www.yebizo.com

ART EVENT 02

アートとテクノロジーを通じて 未来の社会を考える祭典 「未来の学校祭」

東京ミッドタウンと、オーストリアに拠点を置く世界的クリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」が協働した取り組み。アートとテクノロジーを通じて、イベント参加者とともに未来の社会を考える新しいお祭りです。

主催：東京ミッドタウン
特別協力：アルスエレクトロニカ
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
会場：東京ミッドタウン
会期：令和2年2月20日(木)～2月24日(月・振休)
www.tokyo-midtown.com

ART EVENT 03

新しいメディアのジャンルの 創造と日仏の連携 「デジタル・ショック」

メディアアートからビデオゲーム、アニメーション映画、電子音楽まで、新しいメディアの影響を受けた様々なジャンルの創造性、そして日仏の連携について、幅広く紹介するフェスティバル。

主催：アンスティチュ・フランセ日本(在日フランス大使館文化部／フランス政府公式文化機関)
会場：アンスティチュ・フランセ東京、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、ゲーテ・インスティテュート東京、渋谷 WWW ほか
会期：令和2年2月20日(木)～3月8日(日)
www.institutfrancais.jp/digitalchoc/

ART EVENT 04

テクノロジーとアートを実験的に 都市に実装するショウケース 「MEDIA AMBITION TOKYO」

MEDIA AMBITION TOKYO [MAT] は、テクノロジーアートを実験的なアプローチで都市実装するリアルショウケースです。期間中、都内各所を舞台に最先端のアートや映像、音楽、パフォーマンス、トークショーを展開します。

主催：一般社団法人 Media Ambition Tokyo
会場：渋谷スクランブルスクエア QWS、六本木ヒルズ、上野公園ほか都内十数カ所予定
会期：令和2年2月28日(金)～3月8日(日)、14日(土)
mediaambitiontokyo.jp

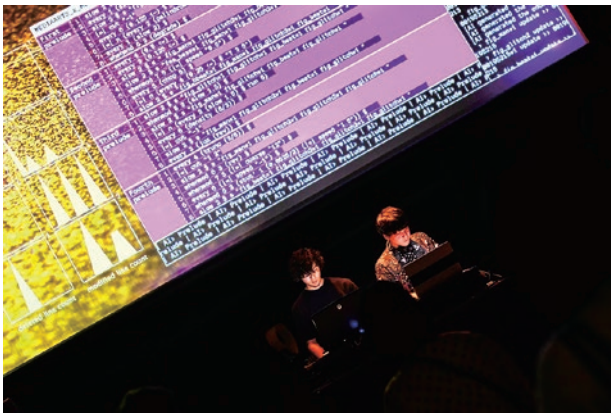


フェスティバル連携 | 恵比寿映像祭 × デジタル・ショック 共催企画

SKYGGE × Ai.step 日仏アーティスト共演：AIと人間による音と映像のライブ・パフォーマンス。

フェスティバル連携のパートナー「デジタル・ショック」と恵比寿映像祭がコラボライブを行います。フランスから、AIのクリエイティビティの可能性を切り開く先駆者的アーティストSKYGGEを、日本からは、人間とAIがライブコーディングによる演奏と映像生成を行なうパフォーマンスを展開するAi.stepを迎えます。AIと人間の関係性について、アーティストや研究者の視点から考察するトークセッションに続き、AIを用いたライブパフォーマンスを行います。なお、「デジタル・ショック」は、他のフェスティバルともコラボ。フェスティバル同士のハブ的位置づけとなり、それぞれを繋ぎます。

日時：令和2年2月22日(土)16:30-19:00 会場：ザ・ガーデンルーム
出演：SKYGGE(プロデューサー、作曲家)、Ai.step [Kakuya Shiraishi, Scott Allen](パフォーマンス・ユニット)／ブレ・トーク司会：四方幸子(キュレーター)
料金：前売2,500円 当日3,000円 ※詳細は、恵比寿映像祭公式サイト[www.yebizo.com]のチケットページへ
定員：180名 共催：アンスティチュ・フランセ日本 協力：MUTEK.jp



Ai.step



SKYGGE



コラボレーショントーク

エリアを超えて、4つのアート・イベントが連携。 東京がメディアアートに染まる1ヵ月。 アートとメディアで街はどう変容するか

アートとメディアのイベントである「恵比寿映像祭」「未来の学校祭」「デジタル・ショック」「MEDIA AMBITION TOKYO」が、開催エリアやイベントの枠組みを超え、連携することで、東京のメディアアートシーンを一層盛り上げていきます。そのスペシャルトークセッションとして、イベントオーガナイザーを一堂に会したトークイベントを開催します。

Media Art in TOKYO：メディアアートは、TOKYOをどう脱皮させられるか？
日時：令和2年2月21日(金)19:00-20:30
会場：東京ミッドタウン・デザインハブ内 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター(ミッドタウン・タワー 5F)
登壇者：谷川じゅんじ(Media Ambition Tokyo、スペースコンポーザー、JTQ Inc. CEO、一般社団法人 Media Ambition Tokyo 代表理事)／シャルル・カルコピノ(インディペンデントキュレーター)／岡村恵子(第12回恵比寿映像祭／キュレーター)／藤谷菜未(東京ミッドタウンマネジメント株式会社／イベントプロデューサー)／ゲルフリート・シュトッカー(アルスエレクトロニカ／総合芸術監督)
参加方法：東京ミッドタウン公式サイト[www.tokyo-midtown.com]より要予約(1月末公開予定)
参加：無料

ハッシュタグキャンペーン #ARTANDMEDIA_TOKYO

4つのイベント会場で 異なる限定記念品がもらえます！

配布期間は、各イベント実施期間をご参照ください。

イベントごとに異なる記念品をご用意しています。「#ARTANDMEDIA_TOKYO」のハッシュタグをつけて投稿し、投稿画面を開催中の記念品配布スタッフ(恵比寿映像祭は1階総合受付スタッフ)に提示してください。「オリジナル缶バッジ」ほか素敵な記念品をプレゼント！
●記念品はなくなり次第終了いたします。予めご了承ください。 ●お一人様につき、各イベント1回ずつの引き換えとさせていただきます。
●詳細は、各事業の公式サイトをご参照ください。

主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京／日本経済新聞社
共催：サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館 後援：ブラジル大使館／カナダ大使館／TBS／J-WAVE 81.3FM 助成：大和日英基金
協賛：ANA／オランダ王国大使館／ゲーテ・インスティテュート 東京ドイツ文化センター／サッポロビール株式会社
協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社／びあ株式会社／ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社ロボット

恵比寿映像祭 お問い合わせ | Contact

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL:03-3280-0099

※内容は都合により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

TOP MUSEUM